

2014年7月5日

小樽商科大学－北海道大学 第100回総合定期戦対面式
大打ち上げ会報告書

小樽商科大学応援団後援会
清水 健介(平成20年入学)

1 実施日時 平成26年6月22日(日)

【大打ち上げ会】16時30分～18時30分

ビアホールライオン狸小路店(狸小路2丁目)

2 参加者

【大打ち上げ会】

合計74名 小樽商科大学 44名(内、学生3名) 北海道大学 32名

3 内容

2014(平成26)年6月22日13時、札幌市大通公園西6丁目広場にて「小樽商科大学・北海道大学 第100回定期戦対面式」が挙行されました。

応援団員は、両校現役学生同士での交流会に出席したことから、我々商大・北大OB、その他関係のある者が一同に会し、対面式挙行の喜びを大いに分かち合おうと、「大打ち上げ会」と称し、当番校である北大側の主催により開催されました。

【大打ち上げ会】

16時30分、第100回目の対面式という節目の年になったことから、これまでにご逝去された両校応援団OBおよび関係者に対する黙祷を捧げました。北海道延齢会事務局長村田勝氏(第74代)による司会進行で開宴となり、今回の第100回対面式が18年ぶりに大通り公園で行われ、学生のみならず小樽市民・札幌市民が大勢見守る中大成功で幕を閉じたことに対する賞賛の言葉がありました。

冒頭、小樽商科大学応援団後援会会長の中川廣太郎先輩の挨拶がございました。続いて北海道延齢会会長でいらっしゃる諏訪正明先輩より、昔と変わらぬ両校の絆と友情についてお話があり、これから100年この友情と対面式を行っていこうという誓いの言葉を頂き、乾杯となりました。



挨拶を聞き入る出席者



乾杯後の様子

暫しの歓談の後、商大側から対面式の花束交換の復活と商大の女形が相変わらず美しいことにたいする賞賛が述べられました。また今回の対面式で北大は「泥棒の拍手」を復活させて会場を沸かせたので、次回は商大側女形の「南蛮踊り」が是非ともみたいとの一言をいただきました。

続いて、幹事の紹介により、両校の若手5名ずつの挨拶が行われました。

商大側からは、清水・浜野・山田（第96代応援団）3名から、各々自己紹介エールがあり、対面式に対する思いが述べられた他、南谷耕平君と土畠啓夢君からの挨拶がありました。



商大96代 清水



商大 南谷

北大側からは、北大恵迪寮生の我如古君の「応援団だけが北大の歴史を築いてきたわけではない。我々のような普通の学生(寮生なので普通よりおそらく少し個性的ではあるが)も北大の歴史を支えているのだ」という挨拶に一同拍手喝采となりました。

宴たけなわの頃、商大OB浅野百樹様から北大水産放浪歌のリクエストがありました。北大第60代応援団大谷文昭様の前口上で水産放浪歌の大合唱が行われました。興に乗れば自然と寮歌が口を衝いて出るのが北大の北大たるべきところ。続々と寮歌が唄われました。

対して商大は、仮屋雄二先輩の先導により北斗寮(一寮)寮歌が唄われました。



商大 仮屋先輩



会場狭しと大盛り

終に寮歌交換の時刻がきました。参加者一同、会場にて大きな円陣を形成し肩を組み、北大側は石川君（第102代団長）の先導で「都ぞ弥生」を、商大側は浜野哲也君（平成20年入学 第96代副団長）による前口上で「若人逍遥の歌」を声高らかに吟じ、熱きエールの交換を行い永遠の友情を心に秘めて、記念すべき大宴会は終焉となりました。

その後、各々が2次会へと繰り出していきました。